

**「山口県農業試験場跡地利用計画(素案)」に対する
パブリック・コメント(県民意見の募集)の実施結果について**

1 公表する資料

- (1) 「山口県農業試験場跡地利用基本計画」 (概要)
(2) 「山口県農業試験場跡地利用基本計画」 (全文)

2 提出いただいた意見とそれに対する県の考え方

- (1) 意見の募集期間
令和7年3月21日(金)から令和7年4月21日(月)まで
(2) 意見の件数
31人 73件
(内 訳)

項 目		件 数
山口県農業試験場跡地利用基本計画(素案)	第1章 計画策定の目的等	—
	第2章 対象地の現況及び諸課題等	13
	第3章 「未来のまち」モデルの考え方	2
	第4章 対象地への機能導入の考え方	4
	第5章 土地利用方針	4
	第6章 今後の進め方・事業スケジュール	—
基本計画策定やパブリック・コメントの実施方法等に関するもの		8
具体的な機能等に関する意見		37
その他の意見		5
合 計		73

※意見に対する考え方については、山口市と協議済みの内容です。

(3) 意見の内容と考え方

■ 「山口県農業試験場跡地利用基本計画(素案)」の内容に係る意見(23件)

No.	意見の内容	意見に対する考え方
章	第1章 計画策定の目的等 (0件)	
—	意見なし	—

No.	意見の内容	意見に対する考え方
章	第2章 対象地の現況及び諸課題等（13件）	
1	大内地区には通勤・休日の交通渋滞といった課題も存在しますが、これらはビッグデータの活用による信号制御の最適化等の既存の技術と取り組みによって解決が可能であり、十分な検討に値すると考えます。 (類似意見：他1件)	県・市で連携し、面的な交通実態を把握するとともに、ソフト対策（迂回看板の設置）や、渋滞緩和に寄与すると想定される交差点改良などの短期対策、事業中路線の整備などの中長期対策について、実現性や整備効果を考慮しながら、個々の対策を組み合わせて、最適な渋滞対策となるよう、引き続き検討を進めてまいります。 今後、大内地域の安全で快適な生活環境を損なわないよう、引き続き取り組んでまいります。
2	何かの施設ができて今以上の交通渋滞が起きないようにしてください。	
3	昔に比べ道路状況が悪化しています。対象地に何が整備されるにせよ、この道路問題が解消されなければ、交通事故等の生活不安が増すことになります。「2 諸課題等とその対応 渋滞対策」となっていますが、渋滞だけではなく、道路対策として抜本的な対策をお願いします。	
4	交通渋滞や住環境への影響に懸念があります。本計画の実施により、周辺道路の交通量増加は避けられず、慢性的な渋滞の悪化や交通事故のリスク上昇が懸念されます。特に、生活道路として利用されている周辺市道は、通学路でもあり、安全性の確保が不可欠ですが、現時点においても住民の増加や県道山口防府線の抜け道として、道路幅に対して交通量が非常に多い状況となっています。示されている渋滞対策は限定的で、道路インフラの抜本的な改善がないまま開発が進めば、大内地域住民の安全・快適な生活環境は大きく損なわれると危惧しております。	
5	交通渋滞の解消について、現在設置されている渋滞対策のゼブラゾーンはまったく解消の役にたっていません。この状態のまま県や市の示すような施設を作ればさらに悪化するのは目に見えています。さらに渋滞がひどくなれば救急車、消防車などの緊急車両の通行にも支障が生じ、人命にかかわる事態になるでしょう。また大気汚染がすすみ住民の健康被害に繋がります。大内は人口が増えているので、これからさらに車の通行量が増えることが予想されます。道路の拡幅や新規道路の建設などの思い切った対策を講じないと解決しないのではないのでしょうか。	
6	市道上矢田御堀線について、以前は大内中学校の自転車通学に利用されていましたが、車との接触事故が多発し、通学路が変更されました。県道山口防府線の迂回路として交通量が多くなり、歩行者、自転車などにとって危険な道路になりました。県道山口防府線の渋滞による迂回で交通量が増えていることから、県道自体の渋滞解消のため国道262号線に誘導する新たな道路が必要です。	

No.	意見の内容	意見に対する考え方
7	市道小野氷上線について、大内小学校の通学路ですが、車の往来が多くなり、朝の登校時には交通制限があるものの、児童、高齢者等の歩行者にとっては危険な道路で、いつ児童が交通事故にあってもおかしくない状況です。当面は一方通行などの交通制限や警察による監視などを行い、対象地整備には同時に歩道の設置や道路拡幅が必要です。	現在の安全対策については、地域の方々の立哨の御協力などにより、児童の安全確保に取り組んでいます。 今後の跡地利用に際しては、安全確保のため、対象地に隣接する市道小野氷上線の整備を行う予定であり、いただいたご意見を参考に取組を進めてまいります。
8	水害対策は丁寧にお願いします。これだけの農地を失うと雨水や河川氾濫のリスクを高める可能性があります。底に排水施設とタンクの構築をお願いします。	雨水排水対策については、土地利用方針や周辺水路の排水能力を踏まえた上で、対象地内での雨水貯留施設など、下流域に浸水等の影響が生じないような方策を具体的な土地利用と併せて検討してまいります。
9	本基本計画地は、仁保川と問田川の合流点上流部にあり、洪水時に内水排除ができずに浸水被害が発生する区域である。このような場所を開発することは、この地域が持っている洪水調整容量を無くすものであり、洪水時には下流部の榎野川流域筋に過大な負担をかけるものであり、総合治水上の視点から農業試験場跡地の開発は行うべきではない。	
10	大内地区には近年頻発する豪雨による浸水被害の懸念という課題があるが、これらは仁保川・問田川上流の未利用地への地下貯水槽の整備などの取り組みによって解決が可能であり検討に値すると考えます。 (類似意見：他1件)	
11	土壌をまず安全基準にしてもらってはじめて子どもが安心して遊べる場になります。早急でありまた困難も伴う課題とは思いますが徹底的にやっていただきたいです。	土壌汚染対策法に基づき実施した土壌調査の結果を踏まえ、基準値を超える有害物質を含む土壌を除去するなど適切に対応してまいります。

No.	意見の内容	意見に対する考え方
章	第3章 「未来のまち」モデルの考え方（2件）	
12	農業試験場跡地に「持続可能な未来のまちのモデルを作る」と言われるが、抽象的すぎて具体的にどのようなものをイメージしているのかがわかりません。具体的なモデルがあれば示してください。	人口減少や少子高齢化が進む中においても、豊かさと幸せを感じながら、誰もがいきいきと輝くことができ、いつまでも住み続けたいと思えるような地域社会を形成していくことが必要であることから、「未来のまち」のコンセプトとして「みんなで紡ぐ幸せのまちづくり～誰もがつながり合い、共に活躍し、心豊かな生活が続いてゆくまち」を掲げており、今後そのコンセプトに沿って具体的な導入機能の検討を進めてまいります。
13	計画案は、未来の街を掲げていますが、抽象的・網羅的で、想像できるのは、見世物的な建物などです。都市の生活で疲れ果て、子供を産めない家庭が多い現状を、如何に変えて行くか、というテーマが必要です。地方に必要な未来の姿は、農林水産業を中心として関連産業と生活との関わりをメインに据えるべきではないでしょうか。	
章	第4章 対象地への機能導入の考え方（4件）	
14	計画案は、生活機能を重点にした、既存の住宅関連施設の展示を思い起こさせます。 今後の地方の発展は、地球レベルの温暖化により都市生活が困難になり、地方へ分散せざるを得ない人々を受け入れて、自然豊かな環境と生活・産業が結びついた、地域を想定すべきではないでしょうか。	施設イメージは例示であり、対象地への導入に当たっては、必ずしも全てを網羅的に導入しなければならないものではなく、実現性や持続可能性を考慮した上で具体的な施設の導入を図るものとしています。
15	公開されている4つのゾーン案の中には集合住宅の整備が含まれておりますが、雇用機会の確保が伴わなければ、住宅を整備しても実質的な人口増加にはつながりません。現に大内地区周辺にはすでに多数の民間集合住宅が存在しており、入居率も低迷している状況にあります。このような地域の実情を踏まえれば、新たな住居系施設の整備は不要と考えられます。	
16	公開されたゾーン構想の中に含まれている集合住宅整備の案について、周辺の大内地区にはすでに多くの集合住宅が存在しており、入居率の低迷が顕著です。雇用の受け皿がないままに住宅だけを増やしても、人口流入にはつながらず、結果的に空室が増える恐れがあります。したがって、まずは産業誘致によって働く場所を確保することが先決です。	

No.	意見の内容	意見に対する考え方
17	既存施設との重複に対する懸念。本計画で構想されている以下のような機能は、既に山口市内に存在しており、新たに整備する必要性に疑問を感じます。 居住・生活利便機能 → 大内地域には既に十分な住宅地と商業施設が存在し、これ以上の人口誘導は不要。 まちのリビング機能 → 亀山公園の整備活用で代替可能。 遊び・学び・文化機能 → 中央図書館・美術館など既存の文化拠点を活用。 チャレンジ支援機能 → 山口大学・県立大学、また中心商店街などを活用。 資源・エネルギーマネジメント機能 → 新山口エリアにおける先進的な取り組みを活用。 これらの既存機能を十分に活かさずに新規整備を進めれば、地域間の役割分担が不明確となり、限られた財源や人的資源の分散を招く恐れがあります。結果として、既存地域の機能が低下し、山口市全体の空洞化を招く懸念があります。	今後、検討を進めていく導入機能については、既存施設の機能との役割分担等も十分に踏まえながら、進めてまいります。
章	第5章 土地利用方針（4件）	
18	計画案では、跡地の半分以上を民間に売却することを想定しています。これほど広大な公有地は、今後手に入らない土地です。一度民間に売却してしまうと、元に戻りません。何かあった場合の有地は将来必要です。民間の活用も必要でしょうが、土地や建物は期間限定の貸与とすべきではないでしょうか。また、事業内容に相応したボランティア集団の創設で運営を考えることが必要です。土地の売却は、絶対反対です。	民間による利活用を促進するエリアについては、民間事業者による事業運営に対し一定の権限行使を留保するため、事業用地となる県有地は、事業用定期借地などの長期有償貸付とすることを基本としています。
19	広大な農業試験場跡地を大型商業施設などに売らないようにしてください。	

No.	意見の内容	意見に対する考え方
20	公的エリアと民間による利活用エリアをおおむね半々とする方向で検討されているとのことですが、全国的に人口減少が進行する中、約19ヘクタールという広大な遊休地が都市部に隣接して残されていることは極めて希少であり、山口市の将来にとって極めて重要な資源であると認識しております。そのような貴重な土地を有効に活用するためには、公的利用に偏りすぎることなく、企業誘致や地域経済の活性化を強く意識した利活用を進める必要があると考えます。 現在、公的エリアを全体の約50%とする案が取り沙汰されていますが、地域の持続的な発展を図る観点からは、公的エリアを全体の25%程度に抑え、残る75%は民間活力の導入により雇用創出や定住促進に資する企業誘致を中心に施策を展開すべきです。 (類似意見：他 1 件)	土地利用については対象地を東西に大まかに分けたものであり、東側は主に公的な利活用を促進するエリアとしています。具体的な整備に向けては民間事業者のアイデアやノウハウなどを最大限取り入れていきたいと考えています。
章	第 6 章 今後の進め方・事業スケジュール (0件)	
ー	意見なし	ー

■基本計画策定やパブリック・コメントの実施方法等に関するもの（8件）

No.	意見の内容	意見に対する考え方
21	利用計画策定の進め方について。農業試験場跡地利用について、県と市の幹部職員だけで構成された検討協議会で検討し、市民には結果を報告するだけというやり方はおかしいと思います。まちづくりの主役は市民です。検討段階から市民を参加させるべきです。検討協議会の内容はすべて公開してください。パブリックコメントだけでなく、市民が他の自治体の事例を学んだり、有識者のアドバイスを聞く機会を設けるべきです。いろいろな利用法とそれぞれのメリット、デメリットを知ることによりよい案が生まれると思います。	市民の方々のご要望やご意見等については、山口市において、市のまちづくりの方向性との整合性なども踏まえ、総合的に検討を行い、市としての考え方を整理した上で、県との協議に臨んでいただく形としております。 また、検討協議会は原則公開としていますが、検討段階にある内容などについても率直な議論を行う必要があることから、意見交換部分は非公開としています。
22	市民の要望を議論し反映するための場（市民や学識経験者からなる審議会など）が作られず、本基本計画策定に関係する県職員と山口市職員のみで構成する検討協議会で市民要望を無視し、密室的に協議決定された素案は納得できません。本基本計画素案に反対します。あらためて、市民や学識経験者が参画する会議を設置し、民主的な議論を経て決定すべきです。	
23	協議会なるものができているが、地元住民への聞き取りも説明も無い。県議会や市議会で議員が質問をするのを聞いて、知らないうちに基本計画なるものが出るようだと分かりました。農業試験場跡地は県の所有地であると同時に地域住民の生活に溶け込んだ貴重な財産でもあります。地域住民の意見を聴くことなしに計画を立てることのないようにお願いします。 何よりも地域住民をはじめ、山口市民、山口県民の意見を訊いてください。	
24	パブリックコメント等を踏まえ最終案をとりまとめて7月には基本計画の策定を目指すとなりました。 市民と共に作る施設であって欲しいのに、このまま子どもを含む市民の意見を直に聞く場を設けずに計画が進むことはあってはならないと思います。ぜひ、この跡地利用が市民参画を基にして、市民が納得し、市民の期待に応えるものであってほしいと思います。	
25	素案本体に「これまでの経緯」が掲載されていますが、山口県民や山口市民等からの度重なる要望や申し入れがあったことや、それへの対応について、何も書かれていません。具体的な案がなにひとつ示されない段階でのパブリックコメントでは、そもそも建設的な意見を出すことは困難です。これまでの行政主導の進め方をいったん中止して、地域住民の声をきちんと聞くという姿勢に転換されるべきと考えます。	

No.	意見の内容	意見に対する考え方
26	公表されている計画は非常に行政的・表面的で、利用する人々の視点や人間の動きが全く見えません。イメージでプランをたてているように思われます。結局のところどんな人がどのように利用するのか、全体像は分からないままです。一体化したデザインなんてものは不要で、それこそ行政の自己満足のように思えます。山口県内のあちこちに似たようなものがあって、それをここに作ったとしても、別のところから人を移動させただけで、目的が終わればさっさと去ってしまう。各地の公園や交流センターと変わらないと分かれば利用者は減ります。次にはせっかく作った箱モノを利用率を上げるために金を入れるようになるでしょう。あまりよいことにはならないように思います。	
27	社会情勢の変化を踏まえた再検討が必要です。計画の検討開始から現在に至るまでに、物価の高騰、人口減少の進行、気候変動など、社会を取り巻く状況は大きく変わっています。特に、近年では食料安全保障の強化が叫ばれており、当初の想定をそのまま進めることは再考の余地があると考えます。	本計画の策定目的は、跡地の効果的な利活用が図られるよう土地利用の基本方針を定めるものであり、具体的な導入機能等については、このたびいただいた様々なご意見や県政を取り巻く状況等を総合的に勘案しながら、今後、検討を進めてまいります。
28	1. 食料安全保障の観点から、農地の維持を優先すべきです 2. 社会情勢の変化を踏まえた再検討が必要です 3. 「交流創造ゾーン」は賛成ですが、その他の区域は農地の活用を検討すべきです 4. 交通渋滞や住環境への影響に懸念があります 5. 将来的な施設維持コストの市民負担を懸念します 6. 既存施設との重複に対する懸念 7. 既存地域の活用を重視すべきです 以上の理由から、本計画については再度のご検討を賜りたく、特に大規模な土地転用については慎重に判断され、農地の保全を前提とした計画への見直しを強くお願い申し上げます。	

■ 具体的な機能等に関する意見（37 件）

次のようなご意見もありましたので、今後の導入機能を検討していく上で、参考にさせていただきます。

No.	意見の内容
29	子育て目線ですみません。山口市には交通公園が無いので、交通公園を作って欲しいです。(周南にありますけど遠いし単調過ぎて……)あとは、健康器具遊具を置いたお散歩コース的な広場だったり、わりと本格的なアスレチック、お散歩がてら気軽にスポーツが出来るバスケットゴールやバレーネット等、簡易的で良いのであったらいいなと思いました。その他、大内の道の駅にしたり直売所も作るなどどうでしょうか？
30	交流センターの建設でおそらく本の貸し出しも可能になるでしょうから、いい日差しの中読書ができるのも楽しみです。デジタル化の本離れが世界的にも課題になっていますが、デジタル中心だと健康面で大変心配です。本の紹介を電子パネルで表示するなどして、本に触れることに関心が持てたら良いかと思います。
31	希望は2つあります。①桜並木を作る、②映画館を建てるです。大内の名所、山口市の憩いの場、サードプレイスとして10年度、20年後に紡いでいくまちを希望しています。①桜並木を作るについて、ゾーンをつなぐ道路沿いに散歩又は軽いランニングのできる歩道を作り、脇に桜を植えます。市民に記念樹として植えてもらうのも良いと思います。桜は川津桜とか、一の坂や維新公園と開花の時期がずれているものが良いと思います。市の花の菜の花とあわせて植えると良いと思います。ちょっと休憩できるベンチがところどころ置いてあると助かります。この道が、それぞれのゾーンにつながる。例えば、子供たちが遊べる広場につながっていたり、カフェにつながっていたり、イベント広場につながっていたりです。子供も年寄りも、ゆったりできる空間となります。この広い跡地を実用的なもののみで完成してほしくない、10年度、20年度、50年後にも残る山口県山口市大内であってほしいと思います。
32	だいぶ前に遊びに行ったきりですが、敷地内に水路が流れメダカが泳いでいたり、池の鯉にエサをあげたりと、水が豊かな印象を受けました。水害対策にもなるのでそれらは是非残してほしいと思います。大きな木々もあり自然豊かなところであってほしいです。
33	市民の憩いの場になるような、山口らしい緑の豊かな場にしてください。
34	立つ鳥のように…あとを濁さず。利用者100%それができると公園や施設は素晴らしく美しい状態を保つことが出来ます。資源に頼る者は、資源について考えるべきです。ソーラーパネルかもしれませんが、風車などで再生資源につながるとシンボルにもなって良いかもしれません。
35	農業試験場跡地に公園等の多くの方が交流出来る場所を作るのであれば、防災対策を踏まえた構造を取り入れてほしいです。地域防災や避難場所等を確保してくれたりすると助かります。
36	いざ災害が起きた時に大量の大内住民が避難できるスペースとして整備してください。
37	災害対策について、ここ数年の異常気象で以前よりさらに雨の降り方がひどくなっており、外水氾濫、内水氾濫が危ぶまれています。現に2023年には内水氾濫で人が亡くなられています。水害に限らず南海トラフ地震の可能性もいわれていますが、避難指示が出ても大内の全員が避難できる場所はなく、高齢者が多いので遠くへは逃げられません。農業試験場跡地を防災の拠点となる防災公園として整備して欲しい。

38	山口市大内地区は県都山口市で1番の人口を有する地域です。(小郡は除く)地理的には樫野川に流れこむ仁保川、問田川に囲まれた低地です。数年に幾度か浸水する地域もあります。河川の改修も頻繁に行われています。前述のように人口の多い割には、防災施設が少なく緊急時には民間のゆめタウンを避難場所にするような計画もあります。地域交流センターや公立小中高を避難場所にすることも考えられますが交流センター、学校の本来の目的からすると長期の利用は望めません。ましてや、民間施設の長期利用などは、問題外です。つきましては、農業試験場跡地を防災を兼ねた地域スポーツクラブ施設の設置はいかがでしょうか。サッカー専用の県営サッカー場、バスケットなどの多目的体育館をつくり緊急時には避難場所、被災者の長期の支援場所として活用する。平時には、小中高の地域スポーツクラブとして活用する。中学校の部活動に対する見直し(教員の働き方改革、改善)にも有効と考えます。同時にプロスポーツ(レノファ、山口パッツファイブ等)の本拠地として活用すれば収入にもなります。
39	山口市にはスケートボードがちゃんとできる場所が無く、スケボーをしている子たちはストリートでするしかない状況です。そんな子たちが阻害されない為にもスケートボードパークを作って欲しいです。
40	食料安全保障の観点から、農地の維持を優先すべきです。近年、日本国内では米不足や食料自給率の低下、物価高騰が深刻化しており、安定した食料供給体制の確保が急務となっています。農地は一度失われると回復が困難であり、将来世代にとっても大きな損失となるおそれがあります。持続可能な社会の構築のためにも、跡地の利活用に際しては、農地の維持・再活用を基本とする土地利用が望まれると考えます。
41	大内地域交流センターの整備や、既存グラウンド、既存緑地の活用方法等を検討する「交流創造ゾーン」の計画は賛成します。しかし、それ以外の区域については、開発を急ぐのではなく、農地を活かした都市農業、市民農園、農業体験施設等の可能性を検討していただきたいと考えます。農業の研究が行われてきたという歴史的経緯や、地域の豊かな自然環境を踏まえ、市民が身近に農業の重要性を実感できるような活用方法を模索すべきです。
42	農地としての利用を生かすのがお金もかからず、せつかくの肥沃な土地を生かすのに良いと思います。農地利用ビジネスはできないでしょうか。いざというときの避難所機能も欲しく思います。そして重要なこととして、働ける場所を作って欲しいです。特に山口から出て行ってしまった人達の多くに、山口市に働く場所がないから、というのがあります。いまでも働ける場所があるなら山口に帰りたいという意見は時々聞きますし、私も同様です。公務員が非常に多い街ですが、ビジネスエリアを作ることが人を呼び戻し、若い世代が山口で生活できて、人口維持と活力創出に重要になります。まとめると、農地利用エリア、避難所活用できるエリア、新規事業とビジネスの創出エリアが欲しく思います。
43	山口大学や山口県立大学とも近い立地にあり、産学官連携による盛り上げを期待したいです。
44	商業施設を誘致してほしいです。
45	商業施設の運営を希望いたします。山口市は県庁所在地でありながら、商業施設も少なく、人口の減少もあり、将来的に人口が減り続ければ衰退していくばかりです。現在検討されている住宅地にしたところで、人口の流入なくしては意味もないかと思います。山口市に住んでいる市民が便利に暮らせることや、人口の流入を考え、より多くの商業施設を検討していただきたく意見いたします。
46	人口が減少していく中、若い世代の人等が魅力的だと思えるような未来の街を大型施設など民間先取りの企業の就職支援の場を広げて欲しい。

47	民間エリアの活用について、企業誘致や商業施設などの誘致を行うべきかと思います。理由は、人口の増加、市の活性化につながればと思います。周辺のインフラ整備が大変かと思いますが、市民として述べさせていただきました。
48	住宅建設が予定に入っているとお聞きしましたが、住居よりも商業施設や企業誘致して欲しいです。市民がもっと盛り上がるような施設を誘致してもらい、大学で県外へ出た人たちが、帰郷して働ける場所を作ってほしい。このままでは人口減少に歯止めがかかりません。安易な活用にならない様にして頂きたい。例えばコストコや、大きな企業などどうでしょうか。企業の施設や工場など雇用を生んでほしいです。
49	宅地化や住宅開発ではなく、商業施設の誘致・建設をご検討いただきたく、お願い申し上げます。その理由としましては、以下の点が挙げられます。雇用の創出：地域住民、とりわけ若者や主婦層に向けた新たな雇用の機会が生まれ、地域経済の活性化につながります。空室アパートの利活用：大内地区には空室となっているアパートが多くあります。商業施設が誘致されれば、そこで働く人々の居住地として、既存のアパートが再活用され、空室問題の緩和につながることを期待されます。近隣施設との相乗効果：隣接する「ゆめタウン山口」との相乗作用により、広域からの来訪者も増加し、地域全体の賑わいを高めることが可能です。地域住民の利便性向上：生活用品から趣味用品まで一括で取り扱うような施設（例：ドン・キホーテ、カインズなど）が建設されれば、日常の買い物の利便性が向上し、車を使わずに済む高齢者や学生にとっても非常にありがたい存在となります。以上の理由から、農業試験場跡地の利活用に際しては、宅地化ではなく、商業施設の建設という方向性をご一考いただきたく存じます。
50	山口県の素案では、公的利用と民間利用が半々となっていますが、大内公民館の新設は、必要ですが、公的利用を抑え、人口増加につながる企業誘致や、人々が集える大型商業施設【ジアウトレット広島のような】の建設を希望します。
51	若者の集まる施設・雇用の生まれる事業。高齢化は仕方ないが、雇用が生まれれば若者も定着するのではないか。
52	・若者が定着する企業誘致をするべき ・若者が喜ぶ商業施設を誘致するべき ・人が住むような場所を増やすべきではない 若者が、働き場所がないため、山口を出ている。街に魅力がないため、山口を出ている。分譲地、アパートの供給過多である。人口が増える、人が集まる策を期待している。
53	それぞれのゾーンにおいて要望したい施設。 複数の飲食店あるいはフードコートなど（民間）⇒現状、大内地域には人口や交通量に比べて飲食店が少ないと思います。私は職場が近くにありますが、ランチの選択肢が少なく、いつも困っております。ゆめタウンは食事だけで行くにはちょっと不便なので、外部からも公園内からもアクセスしやすい複数の飲食店かフードコート的なものと良いと思います。それ以外の施設は、近隣にほぼ存在するため、特に必要を感じません。 映画館（民間）⇒現在、山口市には映画館がなく、一番近くで防府市までいかなければならないため、山口市にも映画館があると良いと思います。 小規模音楽ホール⇒山口市は比較的、文化活動がさかんのように思いますが、音楽や各種バレエやダンス等の発表会が出来る所が少なく、あっても施設的に古く使いづらいところが多いように感じます。より日常的に音楽やダンス等の発表や演劇等のイベントが開催出来る100～200人程度の小規模なホールが必要だと思います。 複合カフェ等（民間）⇒小さな子供たちが遊べる公園が出来ると思いますが、それに隣接して親がそれを見守れる位置にカフェがあるととても良いと思います。な

	おかつ、そのカフェに本屋、コンビニ、自習室、コワーキングスペース、情報端末の閲覧などが出来ると幅広い年代の人が様々な使い方が出来ると思います。 多目的スポーツ広場⇒新しいスポーツである、スケートボード、ローラーブレード、マウンテンバイク、BMX、ロードバイク、スポーツクライミング、3オン3などの施設を他の施設と被らないように作ると良いのではと思います。 屋内スポーツ施設⇒山口のスポーツをもっと盛り上げていくために、いくつかの競技に特化したような施設があると良いと思います。特に卓球やバドミントンなど山口絡みの有名アスリートがいるスポーツが良いと思います。また、ダンスは近年体育の授業に導入されたこともあり、競技人口が急増中であり、これからますます増えていくように思うので、ダンススタジオも併設すると良いと思います。それとフィットネスジムを併設すると良いと思いますが、民間のフィットネスジムの誘致するという形でも良いかもしれません。 アイススケートリンク⇒現在、県内には公営のアイススケートリンクがありません。下松に民間のものがありますが、冬季のみであり、かつ、カーリングやホッケーが出来ません。温泉パークで樹脂のスケートリンクをつくるようですが、競技に使えるリンクでは意味がないと思います。近年、全国的にスケートリンクの老朽化に伴い閉鎖していく方向にあるので、山口として新規建設を検討されてはいかがでしょうか。 短期滞在型施設⇒この施設に高齢者住宅や賃貸住宅を設置するよりも先程挙げた音楽施設やスポーツ施設に関連させて合宿などの短期滞在出来るような施設の方が良いように思います。また、間取り的にファミリーでも滞在出来るようにして、移住希望者にまずはお試し的に1週間程度滞在してもらう方が良いのではないのでしょうか？それと、バーベキュースペースやキャンプスペースを設けても面白いかもしれません。そして、災害時には避難場所としての活用も視野にいれても良いと思います。そして屋根に太陽光や蓄電池の設置により、停電時でも独立して運営可能にしておくことで災害対策にもなると思います。 散歩&ジョギングコース⇒健康増進のための地域の人が散歩やジョギングが出来る周遊コースがあると良いと思います。また、ドッグランや犬を連れて散歩出来るコースも別にあると良いと思います。 カルチャースクールや機能回復デイサービス⇒高齢者が積極的に利用できる施設もあると良いと思います。
54	山口大学共同獣医学部から提案されている“ウェルビーイング”計画に大賛成です。近年、動物を飼育されている幼稚園や小学校が激減しています。（ほとんどないと言ってもいいくらい。）動物と触れ合うことは情操教育上もたいへん効果があることが知られています。にもかかわらず、山口市には子供たちが動物と触れ合える公的な場所がありません。是非、敷地の一角にそのような場所を設けていただきたいと願うものです。動物飼育には当然、労力と資金が必要です。それは、工夫次第で軽減できると考えています。例えば、肉食動物は餌代がかさむので、草食動物にする等（ウサギ、モルモット、ヤギ等がふさわしいが、馬（ポニー等小型のもの）などが揃えられれば最高！来園者に野菜のくず等を寄贈していただく・・・もちろんチェック機能も考慮する）一般的には犬・猫がなじみが深いので、それらもいた方がいかもしれません。クラウドファンディングで動物飼育に係る経費を募集する、等も一方法と考えます。労力は、山口大学共同獣医学部学生さんやボランティアを募集する。＜せつかく山口市には獣医師を養成する学部・学科があるのですから、学生実習等でも活用できると思っています。（病気になった場合も相談できる強みがあります）＞無理のない程度で、継続性のある動物飼育を考えていただくことを提案させていただきます。「動物と触れ合えるコーナーを設ける」提案です。

55	居住地域にするのであれば、居住者としては、出来れば静かにして欲しいと思うはずですが。コンビニとか薬局、郵便局とか病院なんかが近い方が居住者にとってはよいはずですが。大規模なイベントができないような構造にして、防災とか防犯とかを考えるとよいでしょう。イベント等で人を集めたいのであれば、人が入りやすく集まりやすいような場所にする必要があります。また広い無料駐車場を作るべきです。維新公園くらいの駐車場が必要です。平日は運動場として利用できるようにして土日をイベントにする。ハンドメイドやフリーマーケットのようなものを想定するのでしょうか。遠くまで見通せる芝生で、搬入がしやすい方がよい。きらら浜公園のような場所です。そこに店があると人々はそこで買い物をしてしまうので、キッチンカーを設置するのであれば店は置かない方がよいでしょう。結局は維新公園がもう一つできる、というような話になりそうです。居住とイベント用とは性格が違いすぎるのでどちらかに絞った方がよいと思います。
56	出会うとか交流するというのは、狭くて隠れ家みたいな場所がよい。特にプレーパークのような機会がよい。そこには担当の大人がいて、特に巨大遊具などがあるわけではないのですが、昔の遊びとか、焚火などがあって、子どもたちが遊んでいくのです。これを定期的に継続的に行っていけば、そこでの出会いが重みをもってくるのです。いつ行ってもそこに同じ担当者がいると分かれば安心して次も顔を出す。顔を覚えてもらい、会話が增える。出会いというのは、空間ではなく、中心となる土台のような人物がいて、その人を中心にして結ばれていくのです。その人物は誰でもいいのではなく、話を聞くことができ、面白いことを膨らませることができるような人物です。その魅力的な人物を中心にして人が集まってくるのです。NPOでも社団法人でもよいのですが、契約を結んで人件費を払う必要があります。
57	カフェとか、レストランとか、魅力的なお店があればもちろんそれに人が集まってきます。そこに集まるのは、お金を払って素敵なおものを得ようという人々です。ぱっときて買い物をして去っていく、という人がたくさん来ます。そうすると、お金をかけずに人間と人間の深いかかわりを求めてやってくる人は減ってしまう。人と人とのかかわりをメインにするのであれば、あまり派手な店はおかないようにして、保育園とか、老人ホームとか、そういうのをたくさん集めた方がよいと思います。ハローワークや子ども食堂ができるとよい。不登校の相談ができる場所があるとよい。その隙間に公園があってそこをプレーパークとして活用する。時間がある人が長時間過ごすような場になるとよいと思います。逆に経済効果のようなもの考えるのでしたら、性格は大きく変わってきます。巨大なフードコートのようなものを作って珍しい店（例えば関西や東北の食材）を置けば、人は集まります。映画館やゲームセンター、コンサート会場があって、夜はイルミネーションで輝く。近くにゆめタウンがあり、当然ながら競合するのであまり良い策には思えませんが、いずれにしてもビジョンは明確にしておくべきだと思います。
58	交流センター、公民館のような場所は山口県内にたくさんありますが、それと同じようなものを作るのでしょうか。なかなかサークル間での交流は期待できません。いろんなことに挑戦する面白い人物というものを雇い、その中心人物がいろんなイベントを起こしていくとよい。今日はお茶体験、明日はコマ回し、その次はカメラ、など、変えていくのです。例えばお茶と花の体験を同時に行えば、それぞれの団体が交われます。さらにその人物が自分の感動体験をSNSで発信していくようにすれば、その人を中心にして新参加者が集まってくると思います。人と人をつなぐのは、場所ではなく人です。

59	「子どもの遊び場」に特化した意見を述べます。この度の素案では「遊び・学び・文化」の機能として「子どもと共に成長する」を実現する場として「子どもの遊び場」があげられていました。しかし、具体的にどのような「子どもの遊び場」を考えておられるのかははっきりしないので意見が述べにくいところです。先進例では屋外型のものであったり、イベント型であったり、利用するために有料のものが挙げっていますが、子どもにとっての「遊び」の本質を満たす場として考える時、納得できるような事例ではありません。子どもは自然ゆたかな屋外で遊ぶことで五感の発達が促され、その遊びに規制をしないことで自らの危険回避能力、仲間どうしの協調性、そして自己肯定感などが育まれると言われます。そのような遊び場は「プレーパーク」や「冒険遊び場」という呼び名で全国には400以上あります。全国のこのような遊び場をぜひ、視察・研究してください。令和5年、こども基本法に基づく「こども大綱」が閣議決定され、国では「こどもまんなか社会」が進められてきています。せっきくのこの度の土地利用において、この計画は、子どもをまんなかにした子ども政策となっていないように思います。この度の計画では子どもの遊び場は共生共創ゾーンに含まれるということで、着手の先行を東側に譲り、スピーディーに取り組まれることはないようです。ここでも子ども施策が蔑ろにされているのを感じます。
60	数十年前とこどもを取り巻く環境が、極端に変化しています。学校・公共の公園の遊具は危険と言われ排除、和式トイレもほぼ皆無、デジタル化の加速、学校でICT教育。親世代の就労で孤独。。。今回の跡地利用の第一の目的に、子どもが知恵、発想、チャレンジ、たくさんのが実現できて、思いっきり体を動かすことが可能なそんなパークを期待します。跳ねること(大きなトランポリン)や、登る下りるぶらさがる考えれる木のジャングルジムなど、自然芝で滑れる山など、山口県にこれまでにない新しく斬新な、多世代でつながるスペースを楽しみにしています。行くところがない家庭は、近くのゆめタウンに行き、ギューギューに密集して過ごしています。そのため土日の渋滞はひどいもので、新設される跡地の利用で分散は間違いないでしょう。(道の設計も大変重要になると思います。)ゲームセンターにギューギューになるより、大変充実した休日の過ごし方が出来るはずです。将来、健康的に過ごすためにも「体を動かすことが楽しい」と思える子どもを増やす必要があります。足腰こそ丈夫に歳を重ねる必要があります。車社会の山口県民に足りていない点です。
61	計画が全体的に平凡過ぎでは？市内もしくは県内にあるものばかり作ってどうするのですか？当り障りない様にやってこれだけの土地をムダにしたら市民は怒るのでは？集合住宅？いらないと思います。いっぱい余っていますよ。子供の遊び場？例えばどんな物ですか？VSパークとかラウンドワンとかアンパンマンミュージアムとかですか？市民とか県民が県外に出て行くなら、そういう人気物件を真似してもいいのでは？すでにあるような似たもの作るのは反対です。飲食店とかにしてもないものを考えてください。ラーメン博物館とか、山口は魚が美味しいので、金沢とか新潟にも負けてないですよ。唐戸市場的な物も山口市にあっても誰も文句言わないのでは？似たような店を作るのはないと思います。あと、公的利活用ゾーンとはなんですか？いらないと思います。そこで働く人の給料は税金からですか？税金を何だと思っているのか、かなり頭にきます。一市民としての意見を述べさせていただきました。
62	住宅地の候補は、大内地区は、空き家が多く必要性がないと思います。古い空き家に入居しやすくするために、リホーム資金の補助等に力を入れて、周辺の空き家対策が現実的だと思います。

63	将来的な施設維持コストの市民負担を懸念します。山口市においても少子高齢化と人口減少が進む中、新たな施設整備・維持には応の財政負担が伴います。今後、限られた財源の中で市民生活を維持していくためには、新規整備に際してより慎重な検討が必要ではないかと考えます。
64	大内地域の住民にとって、もっとも優先的に解決して欲しいのは①災害対策、②交通渋滞の解消ですが、現在はそのどちらも解決のための具体策が示されていません。災害対策や渋滞解消のめどがたってから初めて利用方法を考えるべきで、それまでの間は広い緑地にしておくのがよいと思います。
65	商業施設利用についてはゆめタウンがあるのでこれ以上の拡充が必要かわかりませんが、要るなら作れば良いと思います。ただし商工会議所からの否定的意見を受けることに付度して重要な選択肢を狭めるようなことは好ましくないと考えます。商業施設があるから山口商店街がダメになるというのではなく、別の方法や視点で魅力を高めていただきたいと思います。

■ その他の意見（5 件）

これらの他に、次のようなご意見もありましたので、今後の参考にさせていただきます。

No.	意見の内容
66	山口市全体においても、直近15年間で約3%の人口減少が見られており（山口市人口統計2010～2025年より）、地方都市である山口市も全国的な人口減少の潮流からは逃れられない状況です。このような中で、地域の未来をどう築いていくかは、今まさに重大な岐路に立たされていると言えます。なお、本件に関連して山口商工会議所から「中心商店街の衰退」に関する意見が出されておりますが、山口市の雇用が中心商店街のみに依存しているわけではありません。現在、市が「中心商店街活性化」の名のもとに多額の公的資金を投じていることについては、その費用対効果（人口動態や商店街の収益実績）といった観点からの検証が十分に行われているのか、大いに疑問が残ります。限られた財源を最も効果的に活用するためにも、こうした点への厳格な検証と説明責任が求められるのではないのでしょうか。
67	商店街を守る為には古い名手の意見は必要無し、瑠璃光寺や、クリスマス発祥を上手く利用して下さい。
68	厳しい意見ではありますが、何も手を打たずに現状を維持することが、結果的に地域の将来を閉ざすことにつながると強く危惧しております。貴重な公共資源である農業試験場跡地の利活用については、山口市・山口県が協力の上、地域全体の利益と将来像を見据えた、柔軟かつ実効性のある施策を展開されることを切に望みます。
69	山口市の人口はこの15年で約3%減少しており、地方都市として今後も人口減少傾向は続く予想されます。このような背景においてこそ、地域に新たな雇用や価値を創出する場としての土地活用が重要です。今、この跡地をどう活かすかが、山口市の未来を左右する大きな分岐点であると強く感じます。なお、中心商店街の再生に関する一部意見も耳にしますが、雇用や経済活動を中心市街地だけに限定することなく、面的な広がりを持って地域経済全体を活性化させる視点が不可欠です。特定エリアへの偏った投資ではなく、広く市民全体にとってのメリットが得られるような政策の実行が望まれます。
70	既存地域の活用を重視すべきです。人口減少時代に必要なのは、「既存のまちを未来に対応させること」ではないのでしょうか。既存地域の活用・再生によって、それぞれの地域住民が安心して暮らせる地域社会を築くべきです。